

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和3年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-8

5-Ⅱ-8

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	空き家や耕作放棄地の活用
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	8 空き家利活用事業	事業主体	佐渡市移住交流推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市環境対策課、佐渡市建設課、佐渡市世界遺産推進課、
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市景観計画区域で空き家の利活用を促進し、歴史的な景観の保護と地域の活性化を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市景観計画における相川や笹川等の特別区域を中心に、歴史的町なみを活かした空き家の利活用について、積極的な周知・広報を行うとともに、所有者とのマッチングや景観保全に必要な情報提供など、相談窓口機能の強化を図る。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家所有者と利用希望者に対してスムーズな情報提供ができる仕組みを構築し、市民が地域内の空き家を保全しながら活用できる仕組みを構築する。</li> </ul>		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家活用PRリーフレットや佐渡市空き家情報システムを使い、空き家の利活用に向けた周知・広報を行った。</li> <li>○ 空き家の利活用に関する相談会を開催した。</li> </ul>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き家利活用を進めるため、空き家相談員の養成と佐渡市空き家情報システム運用の改善を行い、市民の意識向上を目的に空き家対策セミナーや相談会を開催する。</li> <li>● 集落内の空き家を活用したお試し住宅事業に取り組み、集落と連携した地域空き家の利活用促進を進める。</li> </ul> <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談員養成を3年計画で開始し2名が講座受講中である。空き家情報システムの物件登録件数は85件であり、令和3年度に新規登録38件、売買成立34件の実績となった。登録物件を全国空き家バンクにも掲載する仕組みとした。12月18日に開催した空き家対策セミナーに30名が参加し、同日の相談会では10名の相談依頼を受けた。</li> <li>● 新穂湯上、松ヶ崎、相川上京町の空き家3件を集落協力によりお試し住宅に改装し、次年度から移住希望者を受け入れて運用を開始する。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今後の人口減少に伴い新たな空き家増加が懸念されることから、空き家所有者に対して利活用を促す体制づくりと機運醸成を行う必要がある。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空き家所有者への利活用を促すお知らせ通知や空き家セミナーの開催し、PRリーフレットの配布や相談窓口体制の強化を行う。</li> <li>■ 地域まちづくり団体や民間協議会との連携し、民間活力を生かした空き家活用を進める。</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 空き家情報システムを見やすく改修したことで閲覧頻度が増加し、物件の利活用につながることができた。</p> <p>[ A ● B ・ C ]</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。